

第27回 日本太鼓 全国障害者大会

～心に響け「ドンドン」フェスティバル～

2025年 **10月12日** (日)

上田市交流文化芸術センター
サントミュージゼ 大ホール



主 催：  **日本太鼓財団**
NIPPON TAIKO FOUNDATION

共 催：社会福祉法人 **富岳会**

主 管：日本太鼓財団長野県支部

協 賛： Supported by  **日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION**

後 援：厚生労働省、文化庁、長野県、長野県教育委員会、上田市、上田市教育委員会、社会福祉法人全国社会福祉協議会、
社会福祉法人長野県社会福祉協議会、社会福祉法人上田市社会福祉協議会、信濃毎日新聞社、東信ジャーナル社、
株式会社上田ケーブルビジョン

※会場での撮影・録画は一切ご遠慮願います。

ご挨拶

公益財団法人 日本太鼓財団 会長 長谷川 義



本日は、第27回日本太鼓全国障害者大会にご来場賜り、誠にありがとうございます。

公益財団法人日本太鼓財団では、現在43都道府県に47支部を設立し、加盟団体数約650団体、会員総数約17,000人を数えております。日本の太鼓は、老若男女、また障害の有無や国籍を問わず、ますます多くの方に愛好されております。

本年、7月13日（日）に大阪・関西万博会場内 EXPO アリーナ「Matsuri」（大阪市此花区夢洲）にて大阪・関西万博1000人太鼓（日本太鼓ジャンボリー）を開催しました。当日は国内・海外併せて111団体、子供から高齢者、障害のある方々まで約1,500人の打ち手が集結し、日本の伝統文化である和太鼓の魅力を国内外に発信いたしました。

全身を使ってリズムを刻む日本太鼓の演奏は、障害のある方の療育に効用があることが立証されており、社会福祉法人富岳会においては、40年以上前から補助セラピーや自己表現の手段として太鼓を取り入れられております。本大会は1998年に、富岳会主催により「第1回全国障害者太鼓演奏会」が開催された折、「是非とも数多くの障害者団体にも出演機会を」との声をいただき、その後当財団主催、富岳会共催として実施しております。このような中、第27回日本太鼓全国障害者大会が開催できますことは誠に喜ばしいことです。出場される団体の皆さまには日頃の練習の成果を十分に発揮され、さらに日本太鼓を通じて全国の仲間との交流を図り、友好を深め、いつまでも胸に残る大会となりますことを期待いたします。

最後に、当財団の活動に多大なご支援をいただいております日本財団及びボートレース関係者、また本大会にご支援ご協力をいただきました厚生労働省、文化庁、長野県、長野県教育委員会、上田市、上田市教育委員会、社会福祉法人全国社会福祉協議会をはじめとする関係各位、共催の社会福祉法人富岳会、そして主管団体の日本太鼓財団長野県支部の皆さまに心からお礼を申し上げます。

ご 祝 辞

長野県知事
阿部 守一



このたび、第27回日本太鼓全国障害者大会が、盛大に開催されますことをお慶び申し上げます。令和2年の第22回大会では、長野県岡谷市での開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの影響により残念ながら中止となり、本大会がここ長野県で開催されるのは実に21年ぶりとなります。全国各地からお越しくださいました皆様を県民を代表して心より歓迎いたします。

公益財団法人日本太鼓財団及び社会福祉法人富岳会の皆様におかれましては、長きにわたり、日本太鼓という日本の伝統芸能の伝承と振興に寄与されるとともに、障がいのある方々の文化芸術活動に大きくご尽力されてきましたこと、深く敬意を表します。

長野県では、県民の皆様の芸術文化に関する創作活動とその成果の発表を奨励し、優れた芸術文化を身近に鑑賞する機会を多くの皆様に提供するため、「長野県県民芸術祭」を県内各地で開催しています。本芸術祭では、障がいのある方の文化芸術活動に関するイベントも開催され、障がいのある方もない方も、ともにお楽しみいただける機会となっておりますので、ご来場の皆様も是非これらのイベントにご参加いただき、これから深まりつつある信州の秋に触れながら、様々な文化芸術活動をお楽しみいただければ幸いです。

また、本県では、県内の障がいのある人やご家族、事業所の文化芸術活動を支援する拠点として「長野県障がい者芸術文化活動支援センター（愛称：ザワメキサポートセンター）」を設置し、創作活動や発表の機会の拡大に取り組んでいます。今後とも、障がいのある人となない人との交流の機会を拡大し、障がいのある人が、文化芸術活動などに主体的に参加し、その人らしく、充実した人生を送ることができる長野県づくりを進めてまいります。

結びに、本大会の開催に当たりご尽力いただきました関係者の皆様に、心より感謝と敬意を申し上げますとともに、本大会に全国からご参集の皆様が交流を深められ、全国各地に仲間の輪が広がりますこと、そして、大会の成功と皆様の今後のご活躍を祈念しまして、お祝いの言葉といたします。

ご 祝 辞

上田市長
土屋 陽一



「第27回日本太鼓全国障害者大会」が、関係者の皆様の御尽力及び大勢の皆様の御参加のもと、ここ上田市交流文化芸術センター・サントミュージゼにて盛大に開催されますことに心からお喜び申し上げます。

日本遺産にも認定されております、レイラインがつなぐ「太陽と大地の聖地」上田へ、全国各地からようこそお越しくださいました。心から歓迎いたしますとともに、新生上田市誕生20周年となるこの記念すべき年に、皆様をお迎えできたこと、大変光栄に思います。

当市は、「信州の鎌倉」と称される歴史的建造物や史跡、戦国の武将真田一族に所縁のある歴史文化、国定公園の一部である菅平高原や美ヶ原高原に代表される自然の豊かな都市です。また、本日の会場であります「サントミュージゼ」の愛称は、当市が養蚕で栄えた歴史「蚕都（さんと）」と芸術の女神である「ミューズ」を組み合わせたもので、子供から大人まで、障がいがある方もない方も、あらゆる世代の皆様が芸術に触れ合う場として親しんでいただいております。

この交流文化センターで、障害者団体の皆様の文化芸術活動に触れることは、障がいへの理解を深め、表現活動を支援する大変貴重な機会であります。日本の伝統文化である太鼓の音色とリズム、響きを体感し、演奏される皆様と観客の心がひとつとなること。更には、力強い身体表現による演奏から、言葉を越えた相互理解が進みますことを心より願っております。

結びに、本大会の開催にあたり御尽力いただきました公益財団法人日本太鼓財団及び、社会福祉法人富岳会をはじめ、関係者の皆様に敬意と感謝を申し上げますとともに、本大会の成功と本日御参加いただいております全ての皆様の御多幸と御活躍を御祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

ご挨拶

社会福祉法人 富岳会 理事長 山内 剛



本日、ここ長野県上田市において第27回、日本太鼓全国障害者大会が開催されますこと、共催団体として心より御礼申し上げます。また主催であります公益財団法人日本太鼓財団並びに協賛を戴きました公益財団法人日本財団、そして長野県並びに上田市の関係団体の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

27回を迎える今大会。思い起こせば長野県では第6回大会を諏訪市で開催させて戴き、さらには22回を岡谷市での開催を予定し準備を進めていた中、コロナウイルス感染拡大のため中止を余儀なくされました。しかし日本太鼓財団長野県支部の皆様の熱い思いによりこうして第27回大会を再び長野県で開催する運びとなりました。長野県支部の皆様の熱意とご努力に敬意を表しますとともに、共催団体として心より御礼申し上げます。

第1回大会は静岡市での開催でありました。その前年に社会福祉法人富岳会が拠点を置く静岡県御殿場市民会館で開催していることを知る人はあまりおりません。「ハンデを持ちながらも、真摯に太鼓に打ち込む障害者の太鼓チームに発表の舞台を提供したい」そんな思いで始めた大会です。しかし当時はバックアップしていただける団体も資金もなく、富岳会の職員が御殿場市内の企業や商店をまわり協賛金を募り、集まった僅かな資金と、私たちの趣旨にご賛同いただける10団体にも満たない太鼓チームの参加での開催でした。

その大会を視察に来られた元日本太鼓財団理事長の塩見和子氏の「この素晴らしい大会の火を絶やしてはいけない」との一声によって、日本太鼓財団の事業として正式に取り上げられ現在に至っているのです。生みの親が富岳会ならば育ての親は日本太鼓財団と言えるのがこの大会です。そしてこの大会をきっかけに障害のある人たちの太鼓活動が広がり、多くの団体に「日本太鼓全国障害者大会の舞台に立ちたい」という目標を与える事業にまで成長しました

障害は一つの個性です。彼らは一人ひとり無限の可能性を秘めています。只今から舞台上で繰り広げられます太鼓の演奏は、障害という壁を超越した魂の響きです。無心に太鼓を打ち込む姿は、観る人、聴く人に計り知れない可能性を伝え、勇気と生きるパワーを与えてくれるでしょう。そして本日この会場にお越しくださいました皆様が、この感動を一人でも多くの人に伝えて頂けることを祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。

本日はご来場誠にありがとうございました。

ご挨拶

日本太鼓財団長野県支部
支部長 古屋 邦夫



第27回日本太鼓全国障害者大会を長野県で開催するにあたりご挨拶申し上げます。

日本太鼓財団長野県支部においては、2004年諏訪市文化センターにおきまして第6回大会を開催しており、2回目の開催となります。日本太鼓は、古来より継承されてきた我が国の重要な伝統芸能であると共に、障害の有無や年齢、性別に関わらず、その響きやリズムを楽しむことができることから、近年、音楽療育の一環としても注目を集めています。

本大会は障害者の方々が主役です。様々な障害がある打ち手が個性や能力を活かし、太鼓の演奏を通じて感情を表していくその姿や、体験発表は、多くの方々に感動をあたえる事でしょう。障害者も健常者も太鼓に向かう姿勢は一緒だと思います。

本日、出場される皆さまには、日頃の練習の成果を存分に発揮され、全国の仲間と交流を深めていただくとともに、皆さまの心にも大きく響く一日となることを願っております。また、ご来場いただきました皆さまには、今大会に向けて努力された成果をご覧いただき、太鼓の素晴らしさを一人でも多くの方々に感じていただければ幸いと考えております。

結びに、今大会の開催にあたり、公益財団法人日本太鼓財団ならびに全面的にご協力を頂いております社会福祉法人富岳会をはじめ、長野県、上田市様ほか多くの皆さまにご後援を賜りましたことに心より感謝申し上げます。また、大会運営にご協力を頂いたスタッフの皆さまにも厚く御礼申し上げますとともに、ご来場いただきました皆様方の益々のご活躍、ご健勝を祈念いたしまして、挨拶といたします。

第27回日本太鼓全国障害者大会プログラム

～心に響け「ドンドン」フェスティバル～

■ 開会式

■ 演 奏

1. 富岳太鼓 竜神組 (静岡県)・・・ 8
Fugaku Taiko“Ryujin-kumi” from Shizuoka
2. 和太鼓 花の木組 (長野県)・・・ 9
Wadaiko Hana-no-Ki-kumi from Nagano
3. 石川県立明和特別支援学校 龍剣太鼓 OB 会 (石川県)・・・ 10
Meiwa Special Support School “Ryuken Taiko” Graduates from Ishikawa
4. 豊中ろう和太鼓クラブ「鼓響」 (大阪府)・・・ 11
Toyonaka Deaf Taiko Club “Kobiki” from Osaka
5. 金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム (静岡県)・・・ 12
Kanaya Oigawa Kawagoshi Taiko Challenge Team from Shizuoka
6. 三田太鼓 (兵庫県)・・・ 13
Sanda Taiko from Hyogo
7. ファミリーユニット童鼓 (岐阜県)・・・ 14
Family Unit “Dokko” from Gifu
8. 和太鼓 燈舞 (大阪府)・・・ 15
Donmai from Osaka
9. 鼓友 夢光組 (富山県)・・・ 16
Koyu “Nozomi-kumi” from Toyama
10. 恵那のまつり太鼓 (岐阜県)・・・ 17
Ena-no-matsuri Taiko from Gifu

11. 甲斐乃和太鼓 心響会 (山梨県)・・・18
Kai-no-Wadaiko “Shinkyo-kai” from Yamanashi
12. こかばの会 (埼玉県)・・・19
Kokaba-no-kai from Saitama
13. ひとみ太鼓 (兵庫県)・・・20
Hitomi Taiko from Hyogo
14. 金谷大井川川越し太鼓浜松チャレンジチーム (静岡県)・・・21
Kanaya Oigawa Kawagoshi Taiko Hamamatsu Challenge Team from Shizuoka
15. 新潟ろうあ万代太鼓豊龍会 (新潟県)・・・22
Niigata Deaf Taiko Group Bandai Taiko “Horyu-kai” from Niigata
16. やまびこ太鼓 (福島県)・・・23
Yamabiko Taiko from Fukushima
17. 伊豆医療福祉センターどんつく・やわら太鼓 (静岡県)・・・24
Izu Medical Welfare Center “Dontsuku” and “Yawara Taiko” from Shizuoka
18. 御諏訪太鼓保存会 湖響龍夢 (長野県)・・・25
Osuwa Taiko “Kokyoryumu” from Nagano

ご来場のお客様へ

- 演奏中の客席への出入りは、お静かにお願いします。
- 客席は、照明が暗くなっておりますので、移動の際は気を付けてください。
- 客席での写真撮影や動画撮影はできません。
- 客席でのご飲食はできません。
- 携帯電話は、マナーモード設定にするなどのご配慮をお願いします。
- 貴重品等は、ご自身での管理をお願いします。

1

ふ がく だい こ りゅう じん ぐみ
富岳太鼓 竜神組

静岡県

演奏曲：富士の雷舞



1977年に知的に障害のある方々のセラピーとして和太鼓に着目したことから始まりました。その活動内容は、障害者のリハビリテーションや社会自立トレーニングとしてはもちろんのこと、障害者の文化・芸術活動にまで広がりを見せ、広く海外からも注目されています。

演奏曲「富士の雷舞」は、春先から夏にかけて起こる想像を絶するような富士山の雷のすごさをモチーフにしています。豪雨とともに落雷は突然襲い掛かり、巨木を裂き、雷鳴は遠くの四方の山々を轟かせ大地を揺るがします。縦と斜めに配置した三つの太鼓を駆使して雷様が雲の上で荒れ狂う姿を表現します。

大太鼓の迫力あるパートや一生懸命太鼓に向かう姿勢にご注目ください

代表者：山内 剛

久保田真喜／石澤 亜樹／竜田奈津美／高森 春香／勝俣 宏祐／小林 依愛
江口 拓巳／芹澤 加奈／芹澤 里奈／樋口 琢士

2

わ だい こ はな き ぐみ
和太鼓 花の木組

長野県

演奏曲：イチの太鼓^{たいこ}

和太鼓花の木組は、養護学校の寄宿舎で和太鼓を楽しんでいた生徒たちやその親御さんたちが卒業してからも太鼓を続けたいという思いを受け、2007年に職員や親御さんが協力し立ち上げました。

演奏曲「イチの太鼓」は、みんな集まれお祭りだ！という気持ちで、それぞれ楽しく打ち、宮太鼓からやぐらへとソロが移って最後は大回りで自分のお祭りを表現しています。大回りの一人ひとりの楽しんでいる表現、宮太鼓のジャンプと掛け声、やぐらを打つ後ろ姿にご注目ください。

代表者：今村 きよみ

今村 玲南／木下 菜月／栗木	翔／杉山晃太郎／原 夏輝／原 たき代
金田 竜彦／山岸 晃代／牧島 育子／牧島 裕子／北野 元晴／松澤幸次郎	
小林 綾子／斉藤 亜耶／熊崎 武志／宮下 翔一／新井美保子／斉藤 夏菜	
赤羽目紘也／関島 春輝／高野 菜音／伊藤 隆昌／堀尾 宏／宮下 優希	

3

いしかわけんりつめい わ とくべつ し えんがっこう りゅうけんたい こ おーびー かい

石川県立明和特別支援学校 龍剣太鼓 OB 会

石川県

演奏曲：虫送り太鼓「ま～つりだよ」
むしおく たい こ

2009年4月石川県立明和養護学校高等部に和太鼓部が設立されました。2010年4月石川県立明和養護学校（知的障害）と石川県立養護学校（肢体不自由）が統合され、明和特別支援学校が開校し、和太鼓部「龍剣太鼓」の活動が開始しました。2012年3月に卒業後も和太鼓を続けたいという思いで、「龍剣太鼓OB会」が設立され、以後和太鼓部の外部講師である安江信寿氏指導の下、活動をしていました。

残念ながら昨年末に安江先生がご逝去されましたが、その遺志を継ぐ思いで、現在も活動を続けています。

演奏曲の虫送り太鼓「ま～つりだよ」は、地元には伝わる曲です。曲の前半は締太鼓から始まり、大太鼓、長胴太鼓と繋がり、最後は全員で揃い打ちをします。後半の長胴太鼓チームが行うつばめ返し打法（揃い打ち）にご注目ください。

代表者：伊藤 明子

若林 美香／林 芳樹／伊藤 祐介／小室 駿／米田 優一／小林 源大
谷中 天紀

4

とよ なか わ だい こ こ びき 大阪府
豊中ろう和太鼓クラブ「鼓響」

演奏曲：K
けい



1991年11月に豊中市身体障害者福祉会創立40周年記念大会のアトラクションとして和太鼓を打ったことがきっかけで、1992年5月に豊中ろう和太鼓クラブ「ひまわり」が発足。1995年3月に音のない世界にいる者にも、響きが音として体に伝わってくるという意味を込めて「ひまわり」から「鼓響」に改称しました。

本日演奏する曲は、大阪府豊中市で毎年開催している「豊中和太鼓まつり」に出演している「和太鼓衆団やぶからぼう」の曲で、数年前から同団体と合同演奏しています。和太鼓の基本リズムを男女別に分かれて演奏します。軽快な楽しい曲になっておりますので、皆さまもぜひ手拍子でご参加ください。

代表者：宮田千恵子

坂本 善美／木村 英二／藤原 幹男／高橋 朗子／小川 龍一／酒井 要子

5

かな や おお い がわかわ ご だい こ

金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム

静岡県

演奏曲：金谷チャレンジメドレー



和田光則代表の知り合いの子供が障害を持っており、太鼓を教えたことがきっかけで1998年に設立されました。現在では、教える方も習う方もだんだん年をとり、15名ほどで活動しています。

演奏曲の「金谷チャレンジメドレー」は、52年前につくられた曲を私たちでアレンジした茶つみ太鼓の編曲です。茶つみの曲と子供たちがあそび回っている姿と、新芽が出ていきいきしている様子を3曲のメドレーに構成しています。茶つみの情景を思い浮かべながら、お聞きください。

代表者：和田 光則

森本 絵里／酒井 勝則／酒井 光枝／池久保 葵／園田 康貴／山内 大佑
 増田 和馬／斎藤 悠希／岩堀 巧誠／岩堀 純子／牧野ふみよ／原田慎太郎
 小玉恵美子／塚田 利恵／武田ひろみ



さん だ だい こ
三田太鼓

兵庫県

演奏曲：仲間^{なか ま}



三田太鼓は、1984年に三田の歴史や文化をストーリーに、未来に飛躍する三田の黎明と雄姿を鼓舞する勇壮な太鼓を作りたいとの思いから三田市観光協会のもと結成された和太鼓グループです。

演奏曲の「仲間」は、障害のあるなしに関わらず誰もが仲間であるとの思いから作りました。自由に身体が使えないため叩き方や叩く速さに限界があり、その中で簡単に叩け、曲としての流れや音間を優先してできた曲です。

肢体不自由障害者として初めて参加ですが、今自分が叩ける事に感謝して楽しい演奏を行います。

代表者：森永 聡

中村 靖人、佐々木智文

7

ファミリーユニット どっこ 童鼓

岐阜県

演奏曲：さいさい 祭祭

1994年10月、高知県光の村養護学校の黒潮太鼓の演奏を見て、今までに経験したことのない驚きと感動を経験し、「子どもたちにも太鼓を打たせてやりたい」という思いを抱いたことから、2年後の1996年9月に結成されました。

演奏曲の「祭祭」は、障害のあるメンバーでも演奏出来るようにアレンジしています。さらにより楽しく、より祭りらしくなるように「太鼓囃子」の一部も曲中に取り入れてみました。親子や仲間同士で1つの太鼓を打つ姿、楽しそうに演奏している姿をぜひご覧ください。

代表者：児島 和夫

高橋 秀徳／高橋 貴子／奥村 杏里／奥村 千鶴／渡辺 史浩／渡辺 朋子
中島 寛文／中島 幸子／児島 康寛／児島 秀美／川口 舞／川口 清美

8

わ だい こ どん まい
和太鼓 燈舞

大阪府

演奏曲：一響^{いっきょう}



障害者福祉サービス施設で行われている療育プログラムより誕生した和太鼓チームです。どんな時でも大きく成長するチャンスと捉え、「どんまい！」を合言葉にしています。様々な可能性を抱き、夢を持つ強さを育む事を目標に、周りの方々のたくさんの応援を受けながら活動に励んでいます。

演奏曲の「一響」は、冒頭締太鼓2人のソロから始まり、それぞれの個性が際立ちます。続いて、長胴太鼓6人が加わり、リズムが厚みを増していきます。中盤で再び小太鼓のソロに戻り、音が少なくなること一気に空気が変わり、集中力と緊張感が生まれたあと、クライマックスでは全員の太鼓が力強く重なり、息を合わせて一つになろうとする姿にご注目ください。

代表者：大戸 庸子

大戸 竣平／高森 一冴／山田 楓斗／山田莉乃香／田中蓮桜魁
光田 湧己／大戸 紀昌／高本 夏海／小砂見勇仁

9

こ ゆ う の ぞ み ぐ み
鼓友 夢光組

富山県

演奏曲：ごさい ひびき
五彩の響 2025

富山県立となみ総合支援学校和太鼓クラブの卒業生とその父母をメンバーとして2003年に結成されました。地域の祭りやこの全国大会に出場することを励みに練習を重ねてきましたが、新型コロナウイルスの影響で、3年間の活動休止、再始動をしてようやく3年になります。

「五彩の響」という曲は私たちのオリジナルの楽曲です。今回は曲中に富山県の伝統曲「こきりこ節」を加え、お祭り感を出すよう工夫してみました。地域の祭りで聞いている人と一緒に盛り上げられるようにぎやかに披露することを目標に頑張っています。

和太鼓だけではなく様々な楽器を持ってにぎやかに演奏している姿にご注目ください。

代表者：俵 順子

秋本 達也／秋本 秋美／大藏 柊真／大藏 舞子／奥野 康博／奥野千栄子
河原 雅康／河原吏永子／瀬川 智子／高橋 大康／高橋 輝子／法嶋 健太
前田 瑞希／前田 祐子／増岡 涼／増岡 靖子／俵 千晴

10

え な だい こ
恵那のまつり太鼓

岐阜県

演奏曲：いのちの響宴 きょうえん



1989年に職員が静岡県にある富岳太鼓で太鼓を学んだところからはじまり、1990年結成、今年で35年目を迎えます。

演奏曲の「いのちの響宴」は公益財団法人日本太鼓財団 長谷川義会長が「大阪・関西万博1000人太鼓」のために作曲された曲です。様々な太鼓で構成され、それぞれに見せ場がある、力強く楽しい曲となっています。私たちも2025年7月13日(日)に実施された「大阪・関西万博1000人太鼓」に参加し、この曲を披露しました。

曲のリズム・テンポに合わせることを意識し、アクセント・強弱をつける練習をしてきました。明るく元気に演奏するところ、曲の最後に高々と掛け声を出すところにご注目ください。

代表者：酒井 薫

安藤 恵一／安藤 利夫／安藤 和子／伊佐地 工／井口 恵一／伊東 鉄也
伊藤 佳央／大黒 純也／後藤 健治／武川 勝則／田中 里美／春田 信也
古田 浩史／吉村 健／八澤 正弘／外山 和紀／山内 成倫
ガーラゲ ダルシャナ ラクマル フェルナンド

11

か い の わ だ い こ しん きょう かい
甲斐乃和太鼓 心響会

山梨県

いさみごま
 演奏曲：勇駒



2015年6月に結成し、今年で10年目を迎えます。名前のように心に響く太鼓が打てるチーム、そして和太鼓のノーマライゼーションを目指して、障害者と健常者が共に楽しみながらチームワークを大切に練習に励んでいます。

演奏曲「勇駒」は、平安時代に京の都の公家たちが競って全国に持った荘園の牧で多くの馬が育てられ、やがて京へ送り出されるときに、大事に育てた馬の活躍と健康を願いながら、笛や太鼓を打ち鳴らし、別れを惜しんだ様子を表しています。生まれたばかりの仔馬が成長するにつれて逞しく元気に牧場を所狭しと駆け回る様子をスローテンポからアップテンポに変化させて表現しています。

一生懸命頑張って覚えた技をご覧ください。

代表者：小野 智弘

杉山 悠美／斉藤 里恵／斉藤三輝成／狐塚 亮／山路 隆公／神田 弘樹
 遠藤 大成／宮本 千夏／渡辺サチ美

12

かい
こかばの会

埼玉県

だいこ
演奏曲：こかば太鼓

日本の太鼓のすばらしさにふれ、太鼓をたたく楽しさを知ってもらうため1997年に活動開始。障害を持った子どもたちや地域の小学生を中心にその保護者も含めて一体性を大切にしながら、楽しんで太鼓をたたけることをめざして練習に取り組んでいます。

演奏曲の「こかば太鼓」は、一人ひとりが自分の好きなリズムを好きな言葉から引き出して、太鼓を楽しくたたくために作り上げた曲です。一人ひとりが自分の考えたフレーズをたたき、次の人につなぎ、そして共にたたく。地打ちとのかけ合いを楽しんでたたく。全員で一緒にたたいて共鳴を楽しむ。

太鼓が好きで参加して、自分が楽しいと思える太鼓をたたいているうちに、仲間を意識し、仲間と共に楽しく太鼓をたたいている様子を見ていただければ幸いです。

代表者：砂川 貞次

小嶋 龍夫／猪田 純平／猪田 恵子／内野 莊汰／内野 章子／望月 祐輔
望月 幸枝

13

ひとみ太鼓^{だいこ}

兵庫県

演奏曲：堇^{すみれ}

「ひとみ太鼓」は視覚障害者として太鼓をたたきたいの思いから始まり、2009年設立。決して楽な道ではありませんでしたが、みんなで力を合わせ乗り越えてきました。目が見えなくても、見えづらくても、今できる事を探し懸命に前を向き活動しています。

演奏曲の「堇」は、すみれの花言葉「謙虚、誠実、小さな幸せ」のように締太鼓と長胴太鼓の組曲で構成した変化にとんだ曲です。

間髪いれずに次々と展開する締太鼓と長胴太鼓の掛け合いにご注目ください

代表者：西岡 良子

田中 徹／森垣 知美

14

かな や おお い がわかわ ご だい こ はまつ

金谷大井川川越し太鼓浜松チャレンジチーム

静岡県

演奏曲：けんか太鼓^{だいこ}

静岡県島田市が無形民俗文化財に指定する「金谷大井川川越し太鼓保存会」が指導する知的障害者のチーム「金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム」に浜松市から参加しているメンバーがいました。浜松でも太鼓を叩きたいという多くの声が挙がり、同保存会の和田光則代表のご指導を得て、2009年5月に設立されました。

金谷地区には古くから、正月の三が日に子どもたちが太鼓を叩いて町内単位で競い合うという遊びがありました。「けんか太鼓」と名の通り、はげしい太鼓ですがチャレンジチーム流に少し編曲してあります。各パートが同じ叩き方で叩くところにぜひご注目ください。

代表者：斎藤 寿見

斎藤 悠希／斎藤 香織／松浦 光／松浦真由美／三原 京子／三原 まゆみ
佐藤 佑紀／佐藤千佳代

15

にい がた ばん だい たい こ ほう りゅう かい 新潟県
新潟ろうあ万代太鼓豊龍会

みなとたい こ にいがたじん くともえ う
 演奏曲：港太鼓 / 新潟甚句巴打ち



「耳が聞こえなくても和太鼓はできる」私たち、新潟ろうあ万代太鼓豊龍会は、1981年に創設しました。太鼓は打った時の響きを体で感じます。耳が聞こえなくても楽しめる唯一の音楽です。音楽好き仲間づくりと文化活動推進のため色々な活動を行っています。

1曲目「港太鼓」は、新潟港の出船入船の賑わい、豊漁を祝う漁師達の喜びの声を表現したものです。

2曲目「新潟甚句巴打ち」は、新潟を代表する民謡「新潟甚句」をテーマにした曲です。新潟市の象徴である雪と波、そして躍進する新潟市の気概を高らかに打ち上げます。

代表者：家坂 光雄

佐藤 健一／木戸 和史／山岸 弘和／渡辺 伸也／山岸絵里加

16

やまびこ太鼓^{たいこ}

福島県

演奏曲：やまびこ囃子^{ばやし}／勇駒^{いさみごま}

福島県郡山市に活動する「岩代國郡山うねめ太鼓保存会」と地元の「片平公民館」の協力により1999年1月に設立されました。親子で活動しているため、親と子が互いに響きあえるように「やまびこ太鼓」と命名されました。

1曲目の「やまびこ囃子」は、岩代國郡山うねめ太鼓保存会の「うねめ囃子」からの展開曲で左右から一人ひとり登場して打つことにより、太鼓の音が少しずつ大きくなっていきます。

2曲目の「勇駒」は、御諏訪太鼓保存会の小口大八先生の「勇駒」をアレンジし、初めはゆっくりと、徐々に速さをあげて力強く打っていく、やまびこ太鼓の元気が届けられるようにひょうたんを持って踊ったり、振りが入ります。

両曲ともに、横笛に見立てたオカリナの美しい音色と太鼓の響きにご注目ください。

代表者：武田 淳子

武田 悠眞／三瓶 律子／三瓶沙弥香／吉田 久恵／吉田 輝／佐藤日出海
 室井春美恵／室井亜理沙／阿久津恵子／阿久津陽介／佐藤 真弓／佐藤 亮太
 川治 勇志／根本 裕子／根本 樹／石田奈緒子／石田 洋人／後藤 真弓
 後藤 拓人／三田 幸枝／三田 昌之／松崎千鶴子／松崎 妙子／深江 恵子

17

い ず い りょうふくし

伊豆医療福祉センター どんつく・やわら太鼓

だい こ

静岡県

演奏曲：青嵐

せいらん



1990年に障害のある子どもたちの入所施設の夏祭りに、裾野市の五竜太鼓が慰問に訪れました。その演奏を見た入所児の「ぼくも、たいこやりたい」のひと言から活動が始まりました。

今回演奏する曲「青嵐」は、村田淳樹氏の作調です。暑い夏の夜、稲光とともに雲が集まり、ポツリポツリと降り始める雨。雷の音とともに雨足も強くなり、雨が嵐になり、足早に去っていく。そのような様子を締太鼓と長胴太鼓の掛け合いなどで表現した曲です。スローな出だしから徐々にテンポが上がっていきます。

少ない人数ですが、各々が個性的に一つの輪の中で雨を嵐に、そして雨が上がり晴れやかな夜明けにという様子を表現します。ダンスが得意なメンバーも多く、太鼓を叩きながら手を大きく振る叩き方を取り入れたのでご注目ください。

代表者：渡邊 誠司

小林 悠太／谷口 蓮／小池健太郎／真潟 花鈴／大倉 瑠斗

他出場者5名

18

お す わ だ い こ ほ ぞん か い こ きょうりゅう む
御諏訪太鼓保存会 湖響龍夢

長野県

す わ こ いさみごま
演奏曲：諏訪湖ばやし／勇駒



2005年に岡谷市内の小学校にある特別支援学級の太鼓活動として始まりました。学校で太鼓を学んでいた生徒や先生が卒業後も太鼓を続けたいと、御諏訪太鼓保存会に相談があり、湖響龍夢を結成、御諏訪太鼓保存会の団体として活動をしています。

「諏訪湖ばやし」は、諏訪地方に伝わるお囃子で岡谷太鼓まつりでは「どんどこ囃子」とも呼ばれています。子どもたちの、様々な振り付けを楽しんでください。

「勇駒」は、若馬をイメージさせる御諏訪太鼓の伝統的鼓曲です。跳ねるリズムと元気な掛け声にご注目ください。

代表者：古屋 邦夫

竹田 燎真／竹田 理沙／内藤 昭翔／星野 芽愛／竹田 龍人／丸茂 志帆
花岡 伸弥／小笠原 陸／今井 和奏／花岡 祐季／中山 大地／並木 優真
中村 陽彩／宮澤 凌／福田 敬子／高林 英彦／矢ヶ崎勇健

日本太鼓全国障害者大会開催実績

第1回日本太鼓全国障害者大会

日時：1999年7月25日（日） 場所：静岡県コンベンション・アーツセンター・グランシップ（静岡県静岡市）
出場団体：13団体 観客数：1,000名

第2回日本太鼓全国障害者大会

日時：2000年6月17日（土） 場所：御殿場市民会館（静岡県御殿場市）
出場団体：14団体 観客数：1,000名

第3回日本太鼓全国障害者大会

日時：2002年1月20日（日） 場所：御殿場市民会館（静岡県御殿場市）
出場団体：19団体 観客数：1,000名

第4回日本太鼓全国障害者大会

日時：2002年9月22日（日） 場所：恵那文化センター（岐阜県恵那市）
出場団体：17団体 観客数：1,000名

第5回日本太鼓全国障害者大会

日時：2003年9月6日（土） 場所：青山劇場（東京都渋谷区）
出場団体：18団体 観客数：1,200名

第6回日本太鼓全国障害者大会

日時：2004年10月3日（日） 場所：諏訪市文化センター（長野県諏訪市）
出場団体：21団体 観客数：1,000名

第7回日本太鼓全国障害者大会

日時：2005年10月30日（日） 場所：ギャラリーかめおか（京都府亀岡市）
出場団体：22団体 観客数：1,000名

第8回日本太鼓全国障害者大会

日時：2006年9月10日（日） 場所：郡山市民文化センター（福島県郡山市）
出場団体：19団体 観客数：2,000名

第9回日本太鼓全国障害者大会

日時：2007年10月7日（日） 場所：御殿場市民会館（静岡県御殿場市）
出場団体：25団体 観客数：1,300名

第10回日本太鼓全国障害者大会

日時：2008年10月5日（日） 場所：文京シビックセンター（東京都文京区）
出場団体：26団体 観客数：1,000名

第11回日本太鼓全国障害者大会

日時：2009年10月18日（日） 場所：石川県こまつ芸術劇場うらら（石川県小松市）
出場団体：24団体 観客数：800名

第12回日本太鼓全国障害者大会

日時：2010年10月17日（日） 場所：フィットネスハウス・アリーナ（千葉県成田市）
出場団体：29団体 観客数：1,000名

第13回日本太鼓全国障害者大会

日時：2011年10月16日（日） 場所：郷の音ホール（兵庫県三田市）
出場団体：28団体 観客数：1,000名

第14回日本太鼓全国障害者大会

日時：2012年10月21日（日） 場所：御殿場市民会館（静岡県御殿場市）
出場団体：28団体 観客数：1,000名

第15回日本太鼓全国障害者大会

日時：2013年10月6日（日） 場所：文京シビックホール（東京都文京区）
出場団体：35団体 観客数：1,100名

第16回日本太鼓全国障害者大会

日時：2014年10月5日（日） 場所：大東市立総合文化センター（大阪府大東市）
出場団体：34団体 観客数：1,100名

第17回日本太鼓全国障害者大会

日時：2015年10月4日（日） 場所：石川県こまつ芸術劇場うらら（石川県小松市）
出場団体：26団体 観客数：800名

第18回日本太鼓全国障害者大会

日時：2016年10月2日（日） 場所：大垣市民会館（岐阜県大垣市）
出場団体：27団体 観客数：800名

第19回日本太鼓全国障害者大会

日時：2017年10月1日（日） 場所：御殿場市民会館（静岡県御殿場市）
出場団体：27団体 観客数：1,000名

第20回日本太鼓全国障害者大会

日時：2018年10月7日（日） 場所：文京シビックホール（東京都文京区）
出場団体：30団体 観客数：900名

第21回日本太鼓全国障害者大会

日時：2019年10月6日（日） 場所：倉敷市玉島文化センター（岡山県倉敷市）
出場団体：29団体 観客数：800名

第22回日本太鼓全国障害者大会 *新型コロナウイルスの影響により中止

第23回日本太鼓全国障害者大会 *新型コロナウイルスの影響により中止

第24回日本太鼓全国障害者大会

日時：2022年10月23日（日） 場所：御殿場市民会館（静岡県御殿場市）
出場団体：18団体 観客数：450名

第25回日本太鼓全国障害者大会

日時：2023年10月1日（日） 場所：文京シビックホール（東京都文京区）
出場団体：21団体 観客数：400名

第26回日本太鼓全国障害者大会

日時：2024年10月6日（日） 場所：DMG MORI やまと郡山城ホール（奈良県大和郡山市）
出場団体：23団体 観客数：500名

2025年度の主な事業活動予定

■大阪・関西万博 1000 人太鼓（日本太鼓ジャンボリー）※終了

期 日：2025年7月13日（日）
場 所：大阪・関西万博会場内 EXPO アリーナ「Matsuri」（大阪市此花区）
主 管：大阪・関西万博1000人太鼓実行委員会
出演団体：111団体

■第10回大学太鼓フェスティバル ※終了

期 日：2025年8月25日（月）
場 所：タワーホール船堀 大ホール（東京都江戸川区）
主 催：公益財団法人 日本太鼓財団、大学太鼓連盟
出演団体：17団体

■第40回国民文化祭

第25回全国障害者芸術・文化祭 ながさきピース文化祭2025「太鼓の祭典」※終了

期 日：2025年10月5日（日）
場 所：アルカス SASEBO 大ホール（長崎県佐世保市）
主 催：文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、
第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、佐世保市、第40回国民文化祭、
第25回全国障害者芸術・文化祭佐世保市実行委員会、公益財団法人 日本太鼓財団
主 管：日本太鼓財団長崎県支部、全九州太鼓連合
出演団体：26団体

■第9回浅草太鼓祭

期 日：2025年11月3日（月・祝）
場 所：調整中
主 催：公益財団法人 日本太鼓財団、浅草太鼓祭実行委員会、日本太鼓財団東京都支部
主 管：関八州太鼓連合、特定非営利活動法人 東京都太鼓連合
出演団体：20団体程度

■第22回日本太鼓シニアコンクール

期 日：2025年11月16日（日）
場 所：團十郎芸術劇場うらら（石川県小松市）
主 催：公益財団法人 日本太鼓財団、公益社団法人 石川県太鼓連盟、
一般財団法人 石川県芸術文化協会、北國新聞社
主 管：日本太鼓財団石川県支部
出場団体：41組

■第28回日本太鼓ジュニアコンクール

期 日：2026年3月22日（日）
場 所：府中の森芸術劇場 どりーむホール（東京都府中市）
主 管：日本太鼓財団東京都支部
出場団体：50団体程度

■日本太鼓技術普及事業（日本太鼓講習会&資格認定事業）

日本太鼓全国講習会

第73回日本太鼓全国講習会 2025年8月30日（土）・31日（日） 富山県氷見市 ※終了
第74回日本太鼓全国講習会 2026年2月21日（土）・22日（日） 福岡県久山町

公益財団法人 日本太鼓財団概要

<設 立 日> 1997年11月11日

<公益財団移行日> 2012年 4 月 1 日

<資 産> 基本財産 3 億円

<加盟支部数> 47支部（43都道府県）

<加盟団体数> 約650団体

<会 員 総 数> 約17,000人

<理 事>	会 長	長谷川 義	全九州太鼓連合名誉最高顧問
	副 会 長	古屋 邦夫	中日本太鼓連合会長
	常務理事	外海 陽子	常 勤
	理 事	太田 義高	日本太鼓財団北海道連合会会長
	理 事	玉澤 正徳	（一財）日本財団スポGOMI連盟理事長
	理 事	山内 強嗣	（福）富岳会理事長
	理 事	湯澤 元一	関八州太鼓連合会長

<評 議 員>	評 議 員	浅野 昭利	（一財）浅野太鼓文化研究所理事長
	評 議 員	岩切 邦光	全九州太鼓連合会長
	評 議 員	河合 睦夫	富山県太鼓協会名誉会長
	評 議 員	小林 一郎	（株）イー・シー・エー代表取締役
	評 議 員	佐藤 淳子	元（一財）ライフ・プランニング・センター理事
	評 議 員	高野 右吉	高野右吉と秩父社中代表
	評 議 員	田中 泰秀	NPO法人東京都太鼓連合理事長
	評 議 員	中西 由郎	元（一財）日本モーターボート競走会監事
	評 議 員	西川恵美子	尾張新次郎太鼓保存会会長
	評 議 員	吉倉 和宏	日本財団常務理事

<監 事>	監 事	伊藤 勝彦	弁護士 ITN法律事務所
	監 事	金子 明	（公財）笹川保健財団監事

（五十音順・敬称略）



日本太鼓財団
NIPPON TAIKO FOUNDATION

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-11-2
日本財団第二ビル 6 階

Toranomon 1-11-2, Minato-ku, Tokyo 105-0001, Japan

Tel (03)6205-4377 Fax (03)6205-4378

URL : <https://www.nippon-taiko.or.jp>

E-mail : info@nippon-taiko.or.jp